

郷土愛通信

平成29年6月1日

No.2

郷土愛プロジェクト

一昨日（5月30日）は、キャリア教育産学官交流会にご参加いただき、ありがとうございました。全体参加者数250名に対し、大学・短大・高等学校・小中学校を合わせて96名の大勢の先生方にご参加をいただきました。産業界、官公庁、学校、地域（PTAも含む）の方々が一堂に会し、それぞれの立場で、子どもたちの心をはぐくむことを柱に、交流会が開催されるのは、全県でこの会のみです。『地域への誇りが未来をつくる』『子どもたちに伝えるには、まず私たちから』という思いも共有できたところかと思えます。未来ある子どもたちの教育に携わっておられる先生方の今後の実践にご期待申し上げますとともに、各学校のご希望に合わせた産業界、地域の皆様とのつなぎ役を、わたくしども郷土愛プロジェクトも担ってまいりたいと存じますので、お気軽にご相談ください。お寄せいただきました感想から、学校バージョンを作成しました。ご一読いただければ幸いです。

【発表してくださった竹若先生へ】

御柱を通して、また災害の学習を通して地域を知り、引き継がれていく姿を見させていただきました。『つなげる役割を学校が担う』ことも素晴らしいと感じました。御柱は、地域の人々との結びつきを深める大事な意義を持つ行事なんですね。

【発表してくださった土橋先生へ】

3年間のカリキュラムが素晴らしい。土台としての筋道をつけることで、学級担任もやるのがわかる。生徒の立場にすれば、自分の興味・意欲につながりある活動として、3年間取り組めるのだろうと思った。“地域を知る” “地域に学ぶ” “地域に提案する” という流れがよかった。

初めて参加した中学校A先生の学び

○**笹本先生のご講演の感想**：本日はありがとうございました。昨日、本校では「ふるさと学習」と称した地域を題材にした学習がスタートしました。子どもたちは大人が思う以上に、ふるさとに誇りを持ちたがっていると思います。今日の先生のように、ふるさとのよさを語り、生徒と共にそのよさを楽しむことができる人間にならねば・・・と感じました。心にともしびを灯していただきました。ありがとうございました。

○**分科会**：★職場体験時に生徒に仕事の意義を話してくださること、体験を生活につなげることを目指されていることに驚きました。協調性が大切ということは、今のコミュニケーション能力の育成にもつながると感じ、興味深く拝聴しました。（IHI回転機械小澤さんの分科会「企業の教育訓練」の仕組みに参加）

★チームワークを育てるミッション、大変参考になり、ぜひご来校いただきたいと思いました。昔パズル、今レゴの例がわかりやすかったです。また『大人扱いしないと大人になれない！』にも共感しました。（ドリームペーパーコミュニケーションズ米澤さんの分科会「教えないから育つ！」に参加）

○**全体感想**：大変刺激を受けたプログラムでした。講演会ではふるさとのよさに目を向けることの価値を再認識できました。分科会では、2つとも「協調性」「チームワーク」がキーワードとして挙げられる内容で、改めて学校教育で育てるべき力を考えることとなりました。ここで学んだこと、感じたことを、明日からの実践に生かしていきたいと、今強く思っています。



私は、本当は理科の先生です！（あ～そうなんだ）
熱は、熱い方から冷たい方へ伝わります。（君たちは知っているかな？）
キャリア教育のこの会は必要！かつ大事！
この熱を、上伊那から長野へ、日本中へ、大きく世界へ発信していきましょう！
また来年も、ここに集い語り合しましょう！

ご感想をまだいただいていない先生がおられましたら、ご提出いただけるとありがたいです。

FAX 0265-73-5867